

- 2-3 厚木から羽ばたく熱気人
- 4-5 2020年東京大会に向けて新春対談 夢の舞台へ
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ



バレエダンサー 菅井円加さん 華麗な舞で世界を魅了

しなやかに伸びる指先に、凛としたた
たずまい。17歳で厚木から世界の舞台に
飛び出したバレエダンサー・菅井円加さ
ん(25)が昨年夏、ドイツの名門バレエ
団で最高位のプリンシパルに昇格した。
菅井さんは8年前、若手ダンサーの登
竜門・ローザンヌ国際バレエコンクール
で優勝。「世界に感動を与えるダンサー
になりたい」と、ドイツに渡った。言語
や文化の壁、大きなけがや手術など、困
難と向き合いながら自分を高め続けた菅
井さん。持ち前の跳躍や美しいポージン
グと回転、高い表現力に磨きを掛け、多
くの観客の心をつかんでいった。
「ダンサーとして、一人の人間として、
いろいろな経験を重ねてきた。今の私に
しかできないダンスができるよう、プリ
ンシパルになっても自分を信じて努力を
続けるだけ」と語る菅井さん。「文化会
館での凱旋公演が夢。私を育ててくれた
厚木の皆さんに、成長した姿を見てもら
えたら」。ふるさとへの思いを胸に、菅
井さんは今年も世界で華麗に舞う。

《プロフィール》

1994年生まれ。飯山小・小鮎中出身。ドイツのハンブルク・バレエ団で日本人初のプリンシパ

ルを務める。2012年、二つの国際コンクールで優勝。同年に渡独し、ハンブルク・ナショナル・ユース・バレエに入団した後、14年にハンブルク・バレエ団に移籍。



「まだまだいろんなことを経験・吸収して、さらなる高みを目指したい」と菅井さん。撮影は文化会館大ホール



野球選手 井上 広輝 (18) INOUE HIROKI

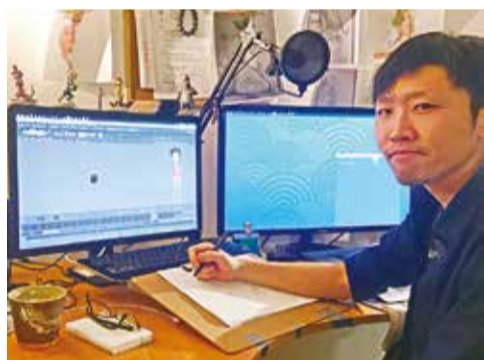
profile
2001年生まれ。恩名在住。恩名ソフト出身。日本大学第三高等学校在学。最速152km/hの速球と変化球を操る制球力が持ち味の投手。18年、「第100回選抜高等学校野球大会」ベスト4。19年にドラフト6位で埼玉西武ライオンズに入団。



昨年12月の記者会見で抱負を語った井上さん

さんは、新たな舞台に向け、地道なトレーニングに励んでいる。兄の影響で、6歳から野球を始めた。強肩を生かし投手のポジションに就くと、負けず嫌いな性格も手伝ってめきめきと上達。ごく自然に「プロ野球選手になりたい」という夢を持つようになった。高校でも、チームメイトや指導者から一目置かれていた井上さん。1年の秋から、主戦力としてチームに貢献した。「打ち損じや失投など、野球は失敗の方が多岐にわたる。だからこそ、練習の成果が出せたときうれし

きたおかげで、夏の大会では満足のいく投球ができた。甲子園で自己最速を投げられた瞬間は、最高に気持ち良かった」と振り返る。成果を着実に積み重ねたことで、漠然と持っていた夢はいつしか、はっきりとした目標になった。 「まずは一軍で先発のローテーションに入りたい。そのためには、最前線の先輩たちに付いていける体をつくらなく」と。幼い頃からの夢をつかんだ井上さん。やるべきことをただ見据え、前へと進み続けている。



自宅でもCG技術の研究を楽しむ若杉さん

「やるからには、海外で活躍する日本人がいたが、将来を真剣に考えた時、好きだった映画に関わる仕事がしたいと思った。野球を離れて時間ができたことをきっかけに、興味があったCGアニメの勉強に没頭した。専門誌などを通して、自宅で活躍する日本人がいることも知った。」

21世紀の初めに普及したCGは、現実と仮想のはざままでキャラクターや物語を生み出し、実写だけでは体験し得ない驚きや感動をもたらした。「小学生の頃、厚木の映画館で見たスター・ウォーズに衝撃を受けた。あの頃から、自分の名前がエンドロールで流れる未来を夢見ていた。そう振り返る若杉さんは、無邪気に笑った。ハリウッドのCGアニメ制作の現場で活躍する若杉さんは、キャラクターに演技や動きを付けるCGアニメーター。昨年2月、製作に携わった映画『スパイダーマン... スパイダーバース』が第91回アカデミー賞長編アニメーション賞を受賞し、躍時の人となった。若杉さんがCGアニメーターを志したのは、大学生の頃。「高校では部活動で野球ばかりしていたが、将来を真剣に考えた時、好きだった映画に関わる仕事がしたいと思った。野球を離れて時間ができたことをきっかけに、興味があったCGアニメの勉強に没頭した。専門誌などを通して、海外で活躍する日本人がいることも知った。」

4年前、若杉さんは同僚と3DCGアニメのオンラインスクールを立ち上げた。アニメーターを目指す日本の若者たちに、ハリウッドで働くために必要な技術や姿勢を伝えたいと思っていた。情熱を持って向かってくる受講生との交流は、若杉さんの仕事への意欲をさらにかき立てた。

誰もが知るアニメスタジオのピクサーで働きたい。目標を決めた若杉さんは、負けず嫌いな性格と野球で培った根性で夢に向かって突き進み、念願のピクサーで働く権利をつかんだ。CGアニメーターの仕事は、キャラクターの性格を捉えて自然な表情や動きを考えたり、動きに合わせて髪や服をなびかせたりと、専門知識に加え想像力やセンスが求められる。「自分の引き出しを信用せず、調べたり、人からアドバイスをもらったりして選択の幅を広げている。多様な発想を組み合わせて、より良いアイデアにたどり着いたときが楽しい」と笑顔を浮かべる若杉さん。仕事以外の時間にもスケッチしたり新しい技法を探したりと、生活の一部としてアニメを研究し、楽しみながら知識や経験を身に付けていった。2016年には、初めて映画製作に携わった『アンگرリーバード』のエンドロールで、自分の名前を映画館で見るといふ夢をかなえた。

アイデアを直感的に描けるスケッチブックで作業



アイデアを直感的に描けるスケッチブックで作業

熱気人映像版

世界一過酷といわれるバイクレース「Erzbergrodeo」に挑戦している石戸谷さんの活動に密着。



オフロードバイクレース 石戸谷 蓮 (28) ISHIDOYA REN



1991年生まれ。三田出身。Beta stars trading所属。未舗装の道や崖など、自然の中を周回するレース「エンデューロ」で活躍。ライディングスクールも主催。鍼灸師として市内の治療院に勤務。

あつき 元気Wave 1/1-CATVで放送 市のYouTube公式チャンネルからも閲覧できます

お年玉企画 4人のサインをプレゼント。詳しくは4・5面に掲載。

18歳の恵まれた体格をいっぱい使った、力強い投球フォーム。ずつしりと地面を踏みしめ、勢いを乗せて放たれた球は、空気を裂くような鋭い音を立ててミットに吸い込まれる。昨秋プロ入りが決まった井上広輝

プロの世界を見据え黙々と

「黙々と鍛錬する姿は、チーム全体の士気を奮い立たせた。2年の春には、けがを経験した。3カ月ほど投げられずもどかしい思いをしたが、その間、下半身を中心に徹底的に鍛え抜いた。」

厚木から羽ばたく

熱気人

厚木で育まれた技術や思いを胸に、より広い世界へ飛び立ち、自分が輝ける場所を見つけた「熱気人」たち。たどり着いた舞台でさらなる高みを目指す姿を追った。

広報課 ☎225-2040



俳優 遠藤 雄弥 (32) ENDO YUYA



芝居の持つ力を信じて

「じゃあ本番、用意」。監督の声に続き、カット、とカチンコの小気味良い音が鳴る。和やかな笑顔を冷やかな目つきへ変え、役に入り込んでいくのは、遠藤雄弥さん。ドラマや映画、舞台などで幅広く活躍する俳優だ。幼い頃、母親の勧めで児童劇団に入った遠藤さん。何となく続けていた11歳の時、ドラマで知的障がいのある人の役を熱演する俳優に魅せられた。「初めて芝居ってすごいと感じた。稽古やオーディションにも熱が入り、13歳の時には初めて主役に抜かされた。



画面で自分の演技を確認する遠藤さん(右)

普通の少年だった。「勉強もスポーツも平均以下。これといった取りえもなかった」と学生時代を振り返る遠藤さん。友人と比べて、本気で取り組んでもうま

ぼろりと「雄弥の芝居はヤバイ」とこぼした。思わぬ言葉にドキッとして真意は聞けなかったが、そのとき迷いが吹切れた。「俺には芝居しかない。役者として生きていく覚悟を決めた瞬間だった。活躍できるフィールドを見つけた遠藤さんは、より演技の研

究や作品づくりへのめり込んだ。没頭する時間が楽しく、多忙なはずの撮影期間の終わりを惜しむほどだ。昨年6月には主演映画の公開に合わせて、厚木でトークショーを開催。「思い入れのある地元で上映できてうれしかった」と笑顔を見せる。進学や就職といった道を歩んでこなかった自分には、社会から遠いところにいるのでは、と思うこともある。けれど幼い自分が感銘を受けたように、芝居には何かを訴える力がある。「足りないところも含めた、自分にはできない芝居で、地元や社会に貢献できたら」。芝居の力を信じる役者の目は、静かな野心に満ちている。

次なる夢は、ハリウッドで映画監督

ターを目指す日本の若者たちに、ハリウッドで働くために必要な技術や姿勢を伝えたいと思っていた。情熱を持って向かってくる受講生との交流は、若杉さんの仕事への意欲をさらにかき立てた。「次はハリウッドの映画監督に挑戦したい。作品を通じて、日本の子どもたちに毎日が楽しくなるようなメッセージを伝えられたら」。夢をかなえてもなお、新たなステージに挑み続ける若杉さん。監督作品が上映される日は、そう遠くないかもしれない。

profile
1987年生まれ。荻野小・中学校出身。カナダ在住。厚木高校、東京工科大学を経て2012年に米国の美術大学を卒業後、ピクサーアニメーション・スタジオにインターンとして入社。15年からソニー・ピクチャーズ・イメージワークスに所属。映画『アンگرリーバード』『スパイダーマン:スパイダーバース』などの製作に参加。



CGアニメーター 若杉 遼 (32) WAKASUGI RYO

profile
1987年生まれ。南毛利小・中学校出身。ワタナベエンターテインメント所属。映画『ジュブナイル』やドラマ『ヴォイス〜命なき者の声〜』『のだめカンタービレ』などに出演。NHK連続テレビ小説『スカーレット』に出演中。今年、主演映画『辰巳』が公開予定。



あつぎのえいがかんkikiで開催したトークショー (左が遠藤さん)



プロフィール 鈴木 百萌子さん (31)

1988年生まれ。厚木市出身。飯山在住。22歳の時に交通事故で右足を失う。2013年、市内のチームで車いすバスケットボールを始める。15年、日本代表選手に選ばれ、18年にアジアパラ競技大会で2位入賞。現在、日本代表チームでセンターとして活躍。



夢の舞台へ

新春対談

2020年東京五輪・パラリンピックに向けて

今年いよいよ日本で開催される東京五輪・パラリンピック（東京大会）。今回の対談では、厚木市にゆかりがあるソフトボール選手の山田恵里さんと、車いすバスケットボール選手の鈴木百萌子さんに、大会に掛ける思いやこれまでの歩みを聞きました。

車いすバスケットボール
鈴木 百萌子さん

ソフトボール
山田 恵里さん

厚木市長
小林 常良



代表合宿で宇津木監督（左）と上野投手（中央）と話す山田さん



市長 明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
さて、東京大会まであと半年となり、大会への関心と期待が高まっています。そこで今回は、東京大会で活躍が期待される山田さんと鈴木さんをお招きし、お話を聞きたいと思っております。

これまでの歩み

市長 今年には五輪・パラリンピックイヤーです。お二人は、どのような心境で練習に臨まれていますか。
鈴木 競技を始めてから目標としていたのが、東京大会のコートに立つことでした。まずは代表の12人に選ばれよう、練習に励んでいます。

山田 ソフトボールは、2008年の北京五輪以来の開催です。次のパリ五輪では再び除外が決まっているので、悔いがないように全力を尽くすつもりです。皆さんの期待もあり、これまで以上にプレッシャーを感じているので、はねのけられるよう練習を重ねています。

市長 山田さんは厚木商業高校で競技を始めたんですね。山田 はい。中学までは男子と一緒に野球をしていましたが、女子は甲子園に出られないと知り、ソフトボールを始めました。厚木商業高校は今の私の原点となった場所です。

市長 鈴木さんは、今も厚木に住んでいるんですね。
鈴木 生まれてからずっと厚木です。車いすバスケットに出会い、関東に二つしかない女子チームが厚木にあったから、競技を続けられているんだと思います。
市長 名古屋での練習や試合は、厚木から通っているんですか。
鈴木 競技用の車いすなど荷物が多いので、毎週車で通っています。よく「引越さないの？」と聞かれますが、厚木が大好き

原点は厚木

市長 鈴木さんは、今も厚木に住んでいるんですね。
鈴木 生まれてからずっと厚木です。車いすバスケットに出会い、関東に二つしかない女子チームが厚木にあったから、競技を続けられているんだと思います。
市長 名古屋での練習や試合は、厚木から通っているんですか。
鈴木 競技用の車いすなど荷物が多いので、毎週車で通っています。よく「引越さないの？」と聞かれますが、厚木が大好き

市長 鈴木さんは、今も厚木に住んでいるんですね。
鈴木 生まれてからずっと厚木です。車いすバスケットに出会い、関東に二つしかない女子チームが厚木にあったから、競技を続けられているんだと思います。
市長 名古屋での練習や試合は、厚木から通っているんですか。
鈴木 競技用の車いすなど荷物が多いので、毎週車で通っています。よく「引越さないの？」と聞かれますが、厚木が大好き



市長にアテネ・北京五輪のメダルを披露

2020年東京五輪・パラリンピックスケジュール

ソフトボール	日時 7月22～28日 9時～22時30分
会場	福島あづま球場 横浜スタジアム
車いすバスケットボール	日時 8月26日～9月5日 9時～22時15分
会場	有明アリーナ 武蔵野の森総合スポーツプラザ

二人に続け 夢の舞台の主役に 厚木から世界に羽ばたくアスリート

市内には、山田さんと鈴木さんの他にも東京大会や2024年パリ大会の出場を目指している選手たちがいます。今回は、二人の選手を紹介します。

知的障がい卓球

宮内 良さん (30・旭町)

現在、世界ランキング13位。強化指定選手として東京大会を目指しています。



プロフィール

1989年生まれ。2016年に日立SC株式会社とプロ契約を結ぶ。18年にスペイン大会で3位入賞。

トランポリン

石田 美咲希さん (13・及川)

2024年特別強化指定選手に選ばれ、パリ大会での活躍が期待されます。



プロフィール

2006年生まれ。19年に神奈川県知事杯争奪戦で優勝、全日本ジュニア選手権大会で2位入賞。

両親の影響で2歳から競技を始めました。週に5日、市内のスポーツクラブで練習しています。2018年の初めての世界大会では、緊張して結果を残せませんでした。悔しさをばねに練習し、19年はシンクロナイズド競技で3位、個人競技で4位になりました。パリ大会の年には五輪に出場できる18歳になります。大会までに自分に足りないジャンプ力を強化し、金メダルを取りたいです。



プロフィール 山田 恵里さん (35)

1984年生まれ。厚木市出身。厚木商業高校卒業。日立製作所所属。日本リーグで本塁打・打点王、新人・ベストナイン賞を獲得する。2004年アテネ五輪で銅メダル、08年北京五輪で金メダルを獲得。同年、厚木市市民功労表彰を受賞。現在、日本代表の主将として活躍。

お年玉企画 直筆サインをプレゼント

山田さんと鈴木さん、2・3面で紹介した方の直筆サインを各3人にプレゼントします。☎広報課 ☎225-2040
ハガキ、ファクスに〒住所、氏名、電話番号、希望のサインを書き、1月31日(必着)までに〒243-8511 広報課宛223-9951へ。抽選。当選者の発表は、発送をもって代させていただきます(2月末発送予定)。

あ つぎスポーツアカデミー

将来のトップアスリートを育てるスポーツの講座です。未就学児～中学生を対象に、駆けっこやマット運動など10種類の教室を年間を通して開催。「広報あつぎ」などで参加者を募っています。
☎スポーツ推進課 ☎225-2531



体幹を鍛える運動をする子どもたち

アカデミーでは、いろいろな種目に対応できるように基礎体力や運動神経を伸ばすトレーニングをしています。子どもたちが、将来好きな競技を見つけ、活躍してくれたらうれしいです。
小学生トレーニングアカデミー講師 川島 浩史さん(33)

NZ 東京大会をきっかけに広がる交流 とのホストタウン事業

市では、東京大会の参加国と交流するホストタウンに登録。現在までに、スポーツ教室や体験留学など50を超える事業を実施しています。日本人選手はもちろん、NZ選手にもエールを送りましょう。
☎企画政策課 ☎225-2050



代表選手によるクリニックなどを実施

なもので、そういう考えはありません。今も週に1回は保健福祉センターで練習しています。
市長 そう言っていただけてうれしいです。山田さんは厚木の思い出はありますか。
山田 3歳で市外へ引越したので、やはり高校時代の思い出が多いです。年末年始以外は毎日練習で、ソフトボールばかりしていました。帰りに友達と一緒にフアストフードを食べたのもいい思い出ですね。
鈴木 私も学生の頃はよく一番街に行っていました。会ったこともありませんね。
市長 お二人にとって、厚木は生まれた場所であり、競技人生の原点でもあるんですね。

トップアスリートとして

市長 お二人が思うアスリートに必要なことは何ですか。
鈴木 小さい頃から、陸上や水泳などさまざまなスポーツに触れてきました。そのときに鍛えられた反射神経や体力などが、今も生きています。
山田 私は、少年野球の監督や部活の顧問など、指導者に恵まれたと思っています。
市長 やほり気軽にスポーツを始め、指導を受けられる環境が大切なんですね。
山田 道具を大事にすることも大切です。私は、バットやグラブを使うとき、「お願いします」と話し掛けます。あと、勝負については、負けるのが嫌です。

鈴木 私も小学生の頃、男子と走って負けず嫌いは、アスリートに重要なポイントの一つですね。山田さんは代表チームの主将をされています。リーダーとして意識していることはありますか。
山田 以前は自分さえ結果を出せばいいと思っていましたが、今はチームがうまくいくことを一番考えています。
市長 個人よりチームということですね。市でも、お二人のように世界で活躍する選手を輩出できるように、しっかりとバックアップできる仕組みを整えていきたいと思っております。

大会への思い

市長 改めて東京大会への意気込みを教えてください。
山田 ソフトボール選手にとって、五輪は一番大きな舞台です。今回、日本でできるのは、関係者やファンの皆さんが支えてくれたおかげです。応援してくれる皆さんに恩返しができるような試合をしたいです。
鈴木 パラリンピック競技は注目度が低いので、皆さんに興味を持ってもらえるような面白い試合をしたいと思っています。ぜひ実際に見て、応援していただけたらうれしいです。
市長 お二人の活躍が、私をはじめ、市民の皆さんに希望を与えてくれると思います。今日はありがとうございました。

市長 改めて東京大会への意気込みを教えてください。
山田 ソフトボール選手にとって、五輪は一番大きな舞台です。今回、日本でできるのは、関係者やファンの皆さんが支えてくれたおかげです。応援してくれる皆さんに恩返しができるような試合をしたいです。
鈴木 パラリンピック競技は注目度が低いので、皆さんに興味を持ってもらえるような面白い試合をしたいと思っています。ぜひ実際に見て、応援していただけたらうれしいです。
市長 お二人の活躍が、私をはじめ、市民の皆さんに希望を与えてくれると思います。今日はありがとうございました。

「普通って何だろう」を考える

あつぎ市民交流プラザで「無意識の偏見展」を開催



会場にはフォトスポットも設置

12月の人権週間に合わせて、企画展「無意識の偏見展」をあつぎ市民交流プラザで実施しました。市内の中学生による作文や、市ゆかりの小説家・深緑野分さんのコラムなどを、約80枚のパネルや音声、映像投影で展示しました。展示は、「広報あつぎ」12月1日発行号の特集「無意識の偏見・普通って何だろう」との連動企画として開催。紙面に載せた市民の皆さんの言葉をより多くの人に届けるために実施し、3週間で約千人以上が訪れました。

会場を訪れた西澤桜子さん(53)は「仕事で『普通』があるべき」という理想に苦しむ人に出会うことがある。違いを尊重し合う気持ちを伝える良いイベントだと思おう」と話していました。

身近にある「ナイスなあつぎ」を発信

「#niceatsugi」のを見つけ方ワークショップを開催

市の公式ハッシュタグ「#niceatsugi」を使った情報発信を学ぶ講座を、厚木中央公園などで開催しました。16〜74歳の市民の皆さん7人が、SNSの使い方の他、面白い看板やきれいな落ち葉など、身近な魅力のを見つけ方を学びました。



公園で「ナイスあつぎ」を探す参加者たち

講座は、昨年7月に「地方創生推進プロジェクト」の大学生メンバーが考えたハッシュタグを多くの方に知ってもらい、SNSでまちの魅力を広めるために開催。参加者は、厚木の魅力を発信しているウェブサイトを「あつぎく」の運営者から、魅力的な文章の書き方や写真の撮影方法の手ほどきを受けました。全過程を終了した参加者には、「#niceatsugi特派員」の認定書が渡されました。



厚木の名産アユの安定供給が可能に

アユ中間育成施設が完成

「厚木あゆ種苗センター」のアユ中間育成施設が三田に完成し、完工式が開かれました。漁業関係者など約50人が出席し、新施設の門出を祝いました。施設の整備は、県内水面漁業協同組合連合会が実施。アユを活用して地域を活性化するために厚木市を含む相模川流域の9市町村と同連合会などで構成する「相模川・中津川水産業再生委員会」が策定した「浜の活力再生プラン」に基づき実施しました。新しい施設は、11基四方の水槽4基と8基四方の水槽2基。施設の稼働により、アユの生産が年間約3トから約8トになります。生産されたアユは、相模川と中津川に放流される他、甘露煮などの加工品にも使用されます。



施設は今月から稼働する

「厚木あゆ種苗センター」のアユ中間育成施設が三田に完成し、完工式が開かれました。漁業関係者など約50人が出席し、新施設の門出を祝いました。施設の整備は、県内水面漁業協同組合連合会が実施。アユを活用して地域を活性化するために厚木市を含む相模川流域の9市町村と同連合会などで構成する「相模川・中津川水産業再生委員会」が策定した「浜の活力再生プラン」に基づき実施しました。新しい施設は、11基四方の水槽4基と8基四方の水槽2基。施設の稼働により、アユの生産が年間約3トから約8トになります。生産されたアユは、相模川と中津川に放流される他、甘露煮などの加工品にも使用されます。

自分たちで安心・安全な学校を

清水小学校が4回目のISS認証を取得

清水小学校が、安心・安全な学校環境をつくる「インターナショナルセーフスクール（ISS）」の4回目の国際認証を取得しました。ISSは、セーフコミュニティ認証センターが推進する国際認証で、安心・安全な教育環境づくりに取り組む学校に与えられます。清水小では、児童、保護者、教職員、地域住民などによる「けがの予防」「自転車・歩行中の事故防止」「通学路の安全確保」「友達とのトラブル防止」「防災対策」の五つに重点を置いた取り組みが評価されました。運営委員会委員長の林優子さん(6年)は「認証されてうれしい。これからも、いじめやけがが完全になくなるよう頑張りたい」と笑顔を見せました。



認証校に贈られる旗を手に記念撮影

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信



児童がNZの伝統舞踊「ハカ」を披露

NZの小学校とオンライン交流

NZを身近に感じるため11月に実施したイベント「Feel of NZ」に合わせ、戸田・愛甲・北小学校の3校で、NZとのオンライン交流を実施しました。各校の5・6年生約200人が、NZの小学生らとオンライン会議システムを使い親交を深めました。

交流は、市と教育委員会がNZの独立政府機関「エデュケーションNZ」と結んだ覚書に基づき実施しています。児童たちは、日本の文化や市内の食べ物などを紹介したり、NZの小学生からの質問に英語で答えたりして交流を楽しみました。参加した児童たちは「NZのことをもっと知りたい」「いつかNZに行ってみよう」と笑顔を見せていました。

今年、いよいよ東京五輪・パラリンピック（東京大会）の年です。市では今後も、東京大会の応援ツアーや教育交流などを実施し、NZの皆さんとの絆を深めていきます。

2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて、ホストタウンとなったニュージーランド（NZ）との交流事業を紹介します。

皆さま、明けましておめでとうございます。記念すべき東京五輪・パラリンピック開催の年。希望に満ちた、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃から、議会運営に對しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。市議会は、市民に最も身近な議会として、果たすべき役割がますます重要になっていきます。厚木市議会では、二元代表制の一翼としての機能を十分に発揮するとともに、より分かりやすい議会を実現するための改革を積極的に進めています。その一

市民の皆さまに
より身近な議会へ

厚木市議会議長
寺岡まゆみ

環として実施した議会基本条例の一部改正では、会議での論点を明確化し議論を深めるため、市長をはじめとする出席者が議員に反問する行為を認めることとしました。現在も、さらなる改革に向け、議会の在り方検討会で議論を進めています。今年で9年目を迎える議会報告会では、出席された皆さまから頂いた意見を、議会活動に反映させていきます。市議会は、昨年7月の選挙で新たに28人の議員が信託を受けました。市民の代表であることを強く自覚し、より開かれた議会づくりに取り組むとともに、市執行部と互いに知恵を出し合い、安心・安全で活力と思いやりのある地域社会の実現に全力を尽くしてまいります。引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。結びに、本年が実り多き年になることを願うとともに、皆さまのご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

タウンガイド

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ☎=Eメール HP=ホームページ
 📄=マイタウンクラブ(📄印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📄☎」と記されたものは、申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「夕暮れの厚木」

#大山
 #市役所第二庁舎
 #12月5日撮影
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中



成人式・はたちのつどい「ハイワ〜レイメイ」

1月13日、11~12時(受け付け10時15分~)。文化会館。式典、ビデオレターなど。新成人には招待状を郵送済み。☎青少年課☎225-2580。



青春劇場

1月11日、13時~15時30分。あつぎ市民交流プラザ。楽しい仲間たち新春ライブ。定員150人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎商業にぎわい課☎225-2834。

アミューあつぎ ハンドメイド&クラフトマルシェ

1月25日、10~15時。アミューあつぎ。約20店舗によるアクセサリや洋服、雑貨などの手作品

の販売、ワークショップなど。☎商業にぎわい課☎225-2834。

あそぼう!まなぼう!まめの木タイム

1月17日、11~12時。温水・恩名児童館。発達に関する講座と手遊びや親子遊びなど。乳幼児と保護者20組程度。無料。☎当日直接会場へ。☎療育相談センター☎225-2252。

つなげよう命! 犬猫保護活動パネル展

1月19日、12~16時。あつぎ市民交流プラザ。犬猫の一生やペットと防災のパネル展、メッセージ映像の上映。廃材を使った木工体験コーナーもあり。☎生活環境課☎225-2750。

食生活改善推進員育成研修会

2月4日、10~12時。あつぎ市民交流プラザ。食品表示や食品の安全を専門家から学ぶ。市内在住で食生活改善推進員養成講座修了証を持つ方50人。無料。託児あり(1歳~小学3年生10人。要予約。抽選)。☎1月24日までに健康づくり課☎225-2201へ。抽選。

旬な情報を発信

広報課公式 Twitter

市の魅力や市民生活に役立つ情報、市への愛着が深まる内容を発信します。

《アカウント名》 @AtsugiCity_PR



ナイスな厚木

公式Instagramでも発信中

《アカウント名》 atsugi_city

ハッシュタグ#niceatsugiで厚木の魅力を広めよう

☎広報課☎225-2040



消防出初め式

消防署や消防団による演習や古式消防など、新春恒例の勇壮な演技をご覧ください。

《日時》1月12日 10時~
 《場所》荻野運動公園
 雨天時は式典のみ体育館で実施

《内容》古式消防保存会のまとい振り込み、はしご乗り、市内事業所・消防団の消火演技、消防部隊の消防演技、一斉放水など

当日は吹鳴試験のため、7時にサイレンを鳴らします。

☎警防課☎223-9368

市民防災研修会

1月18日、10~12時。文化会館。「激甚化する水害への対策」がテーマの講演会。定員1400人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎危機管理課☎225-2190。

広報写真コンクール市民投票

審査の参考とするための市民投票を実施します。厚木の魅力あふれる作品に投票してください。《期間》1月17日~2月7日《場所》あつぎ市民交流プラザ。☎広報課☎225-2040。



農林業センサスに協力を

農林業を営んでいる方を対象に、1月中旬から調査員が訪問します。協力をお願いします。☎行政経営課☎225-2180。

国勢調査の調査員を募集

国勢調査は各種施策の基礎資料とするため、5年に一度、国内に住む全ての人を対象に実施されま

す。市内での調査に協力いただける調査員を募集します。

《主な業務》調査票の配布・回収・整理・提出など《対象》20歳以上で①責任を持って調査を遂行でき秘密を守る②警察官や選挙の候補者でない③暴力団と関係を有しない④の全てを満たす方《従事期間》9・10月(予定)《報酬額》1調査区3万8000円程度(調査区数、世帯数などで異なる)。☎行政経営課や公民館、市HPにある申込用紙を直接または郵送、ファクス、Eメールで5月15日(必着)までに〒243-8511行政経営課☎225-2180・☎225-3732・☎0600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

会計年度任用職員の登録者を募集

職員の欠員や出産休暇などの際に補助業務に当たる会計年度任用職員の登録者を募集します。登録者の中から必要に応じて選考し任用します。

《職種》一般事務の補助、保育士、保健師など《任期》最長で1会計年度(4月1日~翌年の3月31日)《対象》18歳以上(資格要件は職種で異なる)。給与などの詳細は市HPに掲載。☎職員課や市HPにある申込書を、1月6日から直接、職員課へ。随時受け付け、欠員などが生じた際に面接を実施し任用を決定。☎職員課☎225-2070。

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール

Hot E-Mail

インターネットモニター募集

厚木市インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

12月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆人によって「普通」という概念は違うと再認識できた/20代女性 ◆中学生人権作文の取り繕うことない自然に発せられた心の声に感動した/40代女性 ◆知らないうちに人を傷付けていることがあるかもしれないと改めて感じた/70代以上男性 ◆LGBTQを取り上げているのが良い/50代女性 ◆総合計画の実現に向け外部評価を参考にさらに推進してほしい/60代男性 ◆イルミネーションがきれいでした/30代女性

編集後記

市長と対談していただいた山田さんと鈴木さん。とても気さくで笑顔がすてきな二人でしたが、練習では一転、真剣な表情で黙々とトレーニングに取り組む姿が印象的でした。東京大会へのひたむきな思いが感じられ、胸が熱くなり、二人のファンになりました。大会では世界各国のチームと熱戦を繰り広げることと思います。「応援が力になる」と声をそろえていた二人に、皆さんも厚木からエールを送ってくださるとうれしいです/佐藤



市民目線で
魅力を発信

市民リポーター募集

厚木の魅力や市のお知らせを伝えるリポーターを募集します。皆さんの視点から、まちの姿を発信してみませんか。 ☎広報課☎225-2040

【活動内容】

リポーター…市広報番組「あつぎ元気Wave」のレポートや、ナレーションなど
カメラマン…イベントや風景などの撮影
モデル…広報紙などの写真モデル
司会…イベントでの司会進行
《報酬》1回2千～1万円

【応募】

《対象》市内在住在勤在学の18歳以上30人程度
《任期》4月1日～(2年間)
☑履歴書(志望動機・希望の活動内容も記載)を直接または郵送で1月31日(必着)までに〒243-8511広報課へ。書類選考後、オーディション(2月15日)の詳細などを通知。



あつぎ郷土博物館 開館1周年イベント



無料

博物館は、昨年1月27日の開館から4万人ほどの皆さんに來場していただきました。記念の催しを開催しますので、ぜひお越しください。

相模里神楽 体験・公演

《日時》1月①25日②26日 14～16時
《内容》相模里神楽垣澤社中の公演と体験(②は公演のみ。先着50人に缶バッジやしおりなどをプレゼント。15時まで) 《定員》各日70人



☑①電話またはEメールに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、1月5～22日にあつぎ郷土博物館☎8650-3@city.atsugi.kanagawa.jpへ②当日直接会場へ。先着順。

関連の催し

◆あつぎの遺跡展

《日時》1月18日～2月11日
《内容》三田小学校のグラウンド整備で発掘された縄文時代の土器などを展示

入場自由



◆写真展・開館1周年のあゆみ

《日時》1月26日～3月31日
《内容》博物館で開催したイベントの写真約30枚を展示

自然歳時記

●ヒガラ●
シジュウカラ科

体長11センチほどあまり目立たない。鐘ヶ嶽や経ヶ岳辺りでも見掛けるが、冬季は山麓にも下りてくる。ツビン、ツビン、チピンチピンと細く澄んだ声で鳴く／上谷戸川の川べりで見つけた。 写真・文/吉田文雄



川べりのツルヨシの中で、エナガやメジロ、シジュウカラなどが餌を探していたが、楽しそうな鳴き声とともにみんな飛んで行ってしまった。風もなく静かな川面に映るツルヨシの葉が、ゆらゆらと美しい曲線を描き揺れていた。揺れが止むと、水面に小さなヒガラが映っていた。視線を上げると、頭に短い冠羽が

あり胸に黒いちょうネクタイを着けたヒガラの小さな瞳が、興味深げにこちらを見ながら茎をつついていた。夏に大山の尾根で見掛けた時と同じように、人を恐れることもなくけなげに生きる姿に、今日の日に感謝した。冬は、木々が葉を落とし見通しがよく、バードウォッチングに最適な季節。暖かい服装で出掛けよう。

厚木市の人口
(12月1日現在)

世帯数 10万497世帯 (前月比26世帯増)

人口 22万4597人 (前月比90人減) 男11万6231人・女10万8366人